

授業 科目	LA1A08	2単位	選択	講義	1 学年後期	担当 教員	教授 櫻井 ますみ					
	生命倫理											
授業の概要	1. 命の成り立ちを学び、生きる命の重みを尊ぶ。 2. 子どもの命が脅かされている現状を広く概観し、子どもの命を守るための方策を考える。 3. 人生、愛、死を通して人生観、死生観、倫理観について学習者で話し合い、違いを認めていく。											
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ	
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
「こころ」と「生命」について知識と関心を高め、「子どもの命を守る」保育者としての素養を高める。					○		◎			○		
①道徳観、倫理観、こころのありかについて考察できる。					○		◎			○		
③家族愛、夫婦愛、子どもの病気等を題材に生命に対する尊厳と倫理観について考察できる。					○		◎			○		
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標						復 習			
1	オリエンテーション 命のいとなみについて	シラバスに目を通しておく	授業の進め方および評価の方法を理解する 自分のルーツについて知っていることを表現しよう。						ノート、教科書、参考図書等の確認			
2	赤ちゃん成長の不思議な道のり	赤ちゃんの行動的特徴について調べる	人間の一生の中で潜在能力がもっとも高いのは生後8ヶ月から1歳前後だという。幼児の豊かな身体と心を育てるためのヒントを探る。						乳児の発育を振り返る。			
3	脳が世界をつくる	脳のはたらきについて調べる	心が存在する脳内の情報伝達および記憶の生理的しくみを理解する。良い経験の記憶の積み重ねが道徳観、倫理観の育成に重要なことを理解する。						脳の働きと日常生活の要点を関連付ける。			
4	医療行為と子育て（1）	神経系発達について調べる	視聴覚教材を鑑賞し、そこで紹介される事項の是非について考える。						病気はどんな原因で起こるか理解する。			
5	医療行為と子育て（2）	脂肪の消化について調べる	視聴覚教材を鑑賞し、そこで紹介される事項の是非について考える。						子どもの病気の時の子どもと家族への援助についてまとめよう、			
6	典子は今	サリドマイド薬害について調べておく	サリドマイド被害者の生き方について学び、問題について倫理的に考察する。						サリドマイド薬害とはどんな被害があったかあげてみる。			
7	典子は今	出産から育児までの医療について調べる	視聴覚教材を題材に、母子が健康に生活するための医療を考える。						障害についてどう思うか、援助の有無について考える。			
8	がんの治療	がんの告知について、テキストの該当箇所を読んでおく	がんの告知は、患者にとってどのような影響があるのかを様々な方向から考察する。						がんの疫学について整理する。			
9	安楽死は許されるのか	テキストの該当箇所を読んでおく	患者に死を選択する権利はあるのだろうか。医療と安楽死について、患者と家族や医療者の立場など多面化から考察を試みる。						自分はどう選択するか考える。			

10	中絶と胎児の権利	テキストの該当箇所を読んでおく	日本におけるの事例や、海外の議論をあげてその是非について考察する。	事例から学んだことを整理する。 自分の選択を考える。
11	医療的ケア	医療的ケアについて調べる	夫婦にとって生まれて子どもの命は欠かせないものである。命を救う生殖補助医療技術の進展とともに、新たな倫理的、経済的、医療的、教育的問題を考える。視聴覚教材を視聴し、問題点を共有し、生きることの意味を考える。	医療的ケアの問題を整理する。
12	生命倫理の課題	テキストの該当箇所を読んでテーマを決める。	生殖補助医療、脳死、中絶、小児がんなどの問題を整理し、資料を提示し論点を明らかにする。	発表の方法を考える。
13	生命倫理の課題	話し合う方法を決めておく	学生が決めたテーマを出し、話し合う。	話し合ったことを整理する。
14	生命倫理の課題	話し合う方法を決めておく	学生が決めたテーマを出し、話し合う。	自分の立ち位置を考える。
15	子どもの命 プリントの確認	授業で配布した資料の有無を確認する	子どもの生活記録から、今を生きることがいかに大切かを認識するとともに、保育者として子どもの命を守ることの大切さを認識する。	全体の内容を振り返る。
成績 評価	① 受講態度（50%） 発表 レポート+作品（50%） 合計 100% で評価する。 ② 出席確認終了後、始業時間より30分以内の入室は遅刻とし、3回目の遅刻は欠席とする。			
教員 からの コメント	あなたが幸せに生きること何かを考えることが、授業の目標です。命、こころ、愛など少し抽象的ですが、あらためてみてみましょう、 具体的には、脳内の神経伝達物質やホルモンの作用、病気で死にゆく人と周囲の人びととの関係性、がんや告知などをとりあげたいと思います。 命の問題と幸せに生きる倫理についていっしょに考えましょう。 保育者は子どもと関わり、お互いに学びあいます。生活の中で子どもの命を慈しみ、守る仕事です。子どもの命を大切にしたいと思うのがゴールです。 テキストの表題は「マンガで学ぶ・・・」となっています。本書は生命倫理を学ぶ初心者にもわかり易いように、マンガで具体的例を語っています。 内容は、とても分かりやすく身近に感じられるようになっています。 各人の興味でテーマを選び、資料を作り発表します。人の意見をじっくり聞く体験をし、話し合います。学生数の関係でシラバスの授業が変更になります。			
教科書	書名 マンガで学ぶ生命倫理：わたしたちに課せられた「いのち」の宿題 著者 児玉 聡 発行所 化学同人	推薦 図書	書名 生物と生命倫理の基本ノート 著者 西川いづみ 発行所 金芳堂	